

千葉大学卓越大学院プログラム

アジアユーラシア・グローバルリーダー 養成のための臨床人文学教育プログラム

Applied Humanities Program for Cultivating Global Leaders

プログラム案内 2023-2024

卓越大学院プログラムとは？

「卓越大学院プログラム」は、各大学が自身の強みを核に、これまでの大学院改革の成果を生かし、国内外の大学・研究機関・民間企業等と組織的な連携を行いつつ、世界最高水準の教育力・研究力を結集した5年一貫の博士課程学位プログラムを構築することで、あらゆるセクターを牽引する卓越した博士人材を育成するとともに、人材育成・交流及び新たな共同研究の創出が持続的に展開される卓越した拠点を形成する取組を推進する事業です。

本「アジアユーラシア・グローバルリーダー養成のための臨床人文学教育プログラム」は、平成30年度～令和2年度に採択された30件のプログラムの中でも、人文学を中核として諸学知融合的に構築された初めてのプログラムです。本プログラムは、大学・研究機関としては、千葉大学をはじめ、岡山大学、長崎大学、熊本大学、総合研究大学院大学、国立歴史民俗博物館、浙江工商大学東方語言与哲学学院(中国)、ロシア国立研究大学高等経済学院東洋学・西洋古典学研究所が連携するとともに、民間企業としてイオン株式会社、公益財団法人イオン環境財団、JTB 総合研究所、千葉銀行、京葉銀行、千葉県経営者協会が参加します。本プログラムは以上のような組織的な連携体制のもとに、人文学的な知のあり方の内在的な革新を提起し、これからの世界を牽引する卓越した博士人材の養成を目指しています。

WEB サイト

<https://jinbun-takuetsu.chiba-u.jp/top/>



プログラムの内容と特色

多様な背景を持った人々がグローバルに流動、接触し、それとともに発生する摩擦や軋轢もより複雑化しつつある現代世界において、むしろ多様な文化的背景や感性、変動する社会動態に分け入りながら、その中から課題解決の指針を示し、リーダーシップを発揮していくための新しい人文的学知の重要性はいよいよ増していると言えましょう。そのような観点から、社会実装に架橋するための、現代社会を生きていくための人文的学知の刷新はただちに果たされねばなりません。本プログラムでは、人文科学の発想を基礎に据えながら、Digital Humanitiesの方法を応用し、人間社会における未知の事態に対して指針を示し得る大学院教育プログラムを遂行していきます。

本プログラムにおける第一の焦点は、アジアユーラシア研究です。この地域はこれからの日本の針路と深い関係性があるばかりではなく、多民族・多言語・多文化・多宗教が混在する多元的世界の中から未来社会におけるあらゆる課題が生起している実験場、いわば「課題先進地域」であり、まさに変化してやまない世界に対処する力が試される領域でもあります。この多様な領域を対象として、本プログラムは、千葉大学が海外拠点を有する東南アジア、東アジア・中国をはじめ、ロシア、さらにはイスラーム世界までを展望する多言語多文化理解プログラムを展開します。

本プログラムにおける第二の焦点は、Digital Humanities 2.0です。変動する世界の動向を見通すためには、GIS（地理情報システム）デジタル情報を通して可視化される環境変動と社会空間を読み解く技法、あるいは社会調査統計やテキストマイニング等の技法を駆使することによって社会動態のトレンドを予測する手法も不可欠となっています。いまやデータサイエンスに関わる教育教化は、高等教育における重要な課題となっていますが、私たちのプログラムは、人文知とアジアユーラシア研究の高度化に向けて、多言語環境での社会統計・地理情報・テキストマイニングにかかる実践的応用教育プログラムを創出することを目指しています。本プログラムにおける「臨床学」的Digital Humanities 2.0とは、データサイエンスという普遍的な学知を、アジアユーラシアの社会動態を掌握するための社会実装に向けて最適化するための未開拓領域への挑戦であると位置づけられます。

このように、文化と感性の壁に分け入るミクロな観点・技法（伝統的な「精読」の技法）と、データ解析を中核とするデータサイエンスから俯瞰するマクロな観点・技法（Digital Humanities 2.0によって可能となる「遠読」の技法）とを、二つながら体系的履修の中から修得することが本プログラムの重要な核心です。本プログラムでは、このような基礎の上に、人文社会系大学院におけるトップマネジメント人材養成という博士課程人材養成の新しいモデルを明示化します。



Q & A

Q1 応募の方法・時期について教えてください。

A1 大学院入学試験段階では、当プログラム専用の選抜は実施いたしません（本プログラムへの参加希望の有無は大学院そのものの可否とは関係ありません）。大学院入学後、プログラム参加希望者に対して「募集要項」を配布します。所属大学における主指導教員および卓越大学院担当教員と相談の上、出願書類等、各大学所定の書類を作成・準備し、期日までに担当事務窓口へ提出してください。その後、書面審査・面接審査をおこない、合格水準にあると判定された場合、卓越大学院プログラム参加となります。応募に関する詳細は連携各大学によって異なりますので、各大学担当窓口にてご確認ください。

Q4 通常の履修と本プログラムの履修の関係はどのようになっていますか？

A4 通常の修了要件に加え、本プログラムのための授業を履修する必要があります。加えて、フィールド・リサーチや合同コロキウム（研究発表）等のプログラムも実施します。したがって、通常の履修よりも身に付けるべきことは多くなります。そこで、各大学院のプログラム担当教員およびスタッフが、参加学生の皆さんの学修をさまざまな場面でサポートしていきます。

Q7 学部生までの段階でデータサイエンスに関わる教育を受けておらず、「Digital Humanities 2.0」履修に不安があるのですが。

A7 本プログラムは少人数で構成されていますので、各人のレベルに応じた柔軟な指導を想定しています。さほど不安を感じる必要はないと考えます。

Q2 選考方法について具体的に教えてください。

A2 提出された書類・成績評価・入試成績および面接等の審査に基づき、総合的に判定します。連携各大学においてそれぞれ定員がありますので、詳細は各大学の「募集要項」および担当窓口にてご確認ください。

Q5 本プログラムでの学生サポートについて教えてください。

A5 千葉大学の場合、博士前期課程からリサーチ・アシスタント（研究補助）業務に就くことが可能となり、一定の経済的支援が得られることとなります。また、「合同コロキウム」参加のための国内旅費、「フィールド・リサーチ」実施のための海外渡航費用について支援を受けることができます。さらに、Digital Humanities 習得に必要なデジタル機器類を整備しています。学生個人には、データサイエンス授業履修に必要な貸出PCも準備されています。

Q8 コロナ禍の影響で、現在も授業等が様々な形式で実施されるようになりましたが、卓越大学院プログラムはどうなっているのでしょうか？

A8 メディア授業（オンデマンド型・同時双方向型）や対面授業のほか、対面プログラムである連携大学との「合同コロキウム」や、国内外への「フィールド・リサーチ」を実施しています。

Q3 本プログラムの指導教員について教えてください。

A3 第1ステージ（博士前期課程）の場合、主指導教員は所属大学の卓越大学院プログラム担当教員としますが、副指導教員は他の連携大学（千葉大学・岡山大学・熊本大学・長崎大学・総合研究大学院大学）所属の卓越大学院プログラム担当教員に依頼します。これにより所属機関の枠を超えた研究指導体制が構築され、幅広い研究活動をおこなうことができます。（各所属大学院の指導体制は従来どおりであり、上は本プログラムの指導体制についての説明です）。

Q6 本プログラムは「アジアユーラシア」を研究テーマとする大学院生でなければ履修できないのでしょうか？

A6 本プログラム実施大学大学院に所属する学生であれば、どのような学問領域を専攻していても本プログラムの履修は可能です。本プログラムでは、アジアユーラシア地域を「課題先進地域」と捉えて、プログラムの第一の柱としています。むしろ、人文社会科学の学問的手法によって「アジアユーラシア」地域の課題をどのように解決することが可能か、さまざまな領域の方法論を導入して多角的に考究していく視点が共有されていくことも本プログラムが目指すところです。

Q9 卓越大学院プログラムの概要はHPで理解できましたが、詳細について知りたい場合はどうすればよいのでしょうか？

A9 進学予定の各大学大学院事務窓口にお問い合わせください。代表大学である千葉大学の窓口は以下のとおりです。
〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33 大学院学務室 卓越大学院担当
jinsha-takuetsu@chiba-u.jp
043-290-2997
（月～金 9：00～12：00
13：00～17：00）

千葉大学卓越大学院プログラム

アジアユーラシア・グローバルリーダー 養成のための臨床人文学教育プログラム



卓越大学院プログラム

「アジアユーラシア・グローバルリーダー養成のための臨床人文学教育プログラム」への積極的な応募を歓迎いたします。

DATA

プログラム名称

アジアユーラシア・グローバルリーダー養成のための臨床人文学教育プログラム

開始年度

令和元年度（2019年度）

プログラム責任者

山田 賢（千葉大学副学長（教育・産学連携担当）・大学院人文科学研究院教授）

プログラムコーディネーター

米村 千代（千葉大学特命理事（運営基盤担当）・大学院人文科学研究院教授）



連携大学・連携機関

千葉大学大学院

<人文公共学府>人文科学専攻、公共社会科学専攻、人文公共学専攻
<融合理工学府>数学情報科学専攻
<学位プログラム>総合国際学位プログラム

岡山大学大学院

<社会文化科学研究科>日本・アジア文化専攻、人間社会文化専攻、
社会文化学専攻

長崎大学大学院

<多文化社会学研究科>多文化社会学専攻

熊本大学大学院

<社会文化科学教育部>現代社会人間学専攻、文化学専攻、
人間・社会科学専攻

総合研究大学院大学

<文化科学研究科>日本歴史研究専攻

- 浙江工商大学東方語言与哲学学院（中国）
- ロシア国立研究大学高等経済学院東洋学・西洋古典学研究所
- 国立歴史民俗博物館
- （公益財団法人）イオン環境財団、イオン（株）
- （株）JTB 総合研究所
- （株）千葉銀行
- （株）京葉銀行
- 千葉県経営者協会

お問い合わせ

国立大学法人 千葉大学
人社系学務課大学院学務室

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33

TEL 043-290-2997

Email jinsha-takuetsu@chiba-u.jp